

## 会 議 要 旨

会議名	館山市社会教育委員会議
開催日	平成27年6月18日(木) 午後1時30分から
開催場所	館山市コミュニティセンター2階 集団指導室
出席者	社会教育委員 9名 教育長、事務局 7名
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	0名
会議概要・結果等	<p>議題 1. 委嘱状交付 2. 平成27年度生涯学習に係る基本方針と重点施策について 3. その他</p> <p>質疑応答・意見等</p> <p>1. 博物館・出前講座について 博物館を活用したいのだが、学校では距離や時間的制約もあり難しい中で、現状の利用状況を教えてほしい</p> <p>●博物館では学校からの依頼で講演や、授業での説明を行っているが、今年度西岬地区展が行われるため、西岬小学校へ授業を行えないか交渉中である。シリーズとして、来年から出前のように行いたいと考えている。</p> <p>2. スポーツ課・オリンピック・パラリンピックのキャンプ誘致について見通し、展開について</p> <p>●各種競技連盟を活用したパイプ作りを行い、各国へ情報発信を行っていく。東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会のHPにおいて、来年8月以降キャンプ地情報を発信する予定で、館山市も活用していきたい。競技選手へパンフレットの配布を行ったり、色々な方法でチャレンジしているところである。</p> <p>3. スポーツ課・オリンピック・パラリンピックキャンプ誘致に関して施設面等について、他市と連携して施設整備するとか考えられないか</p> <p>●キャンプ用の競技施設に求められる基準のレベルは高い。鴨川市では体育館の建設の話はあるが、館山市では新たな施設整備は難しい。安房3市1町で話し合う場も出来つつあり、連携してやれるものは検討したい。ただし、新たな施設整備については将来性、採算性等も含めて考えていかなければならないので難しい。既存施設の有効活用は大事だと考えている。</p>

4. 博物館・収蔵資料データベースの充実、進捗状況について

●H27年度については寄付が749件、購入が72点、収蔵資料全体では7万4千点あり、それらの資料を、誰から寄付を受けたのか、どういったものかを重要と捉えてデータベースを作成している。進捗状況については、当該年度のは当該年度でデータを作成している。公表については、個人情報の問題もありまだクリアできていない。

5. 博物館・博物館3館の有効活用及び必要とする理由について

●館山城は八犬伝に関する日本唯一の博物館であり、本館は元より館山市所有のものであり歴史文化を継承しているものとして必要と考える。渚の博物館に関しては、先日後藤義光の展示を行い9,300人の来館がある等需要がある。渚の博物館は無料で入館でき、役割が他の館とそれぞれ違うため、山に関するもの・海に関するもの等といったすみ分けをしながら活用し、商業ベース的な色彩もある中で、情勢を含めながら検討していきたい。

6. 生涯学習課・渚の博物館が現在無料だが、有料化について観光と結び付け活性化させてはどうか

●無料という事で利用状況も多い中、本館特別展の際は入館料を上げているため、渚の駅で特別な催しを行う際には有料も検討材料の一つであると考ええる。

7. 博物館・3館の連携及び棧橋を活かしたPRについて

●共通観覧券としてトートバックがあり、博物館、渚の駅、赤山地下壕跡、館山城へ行くと、バッグへスタンプを押される。共通券のため、個々で購入するよりは安くなっている。今後広報しPRを行っていく。